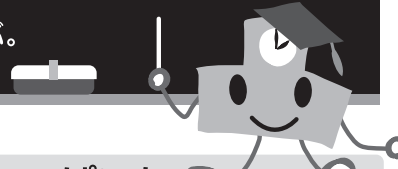


植えるだけでなく、育て、見守る。 地域に根ざした花いっぱい運動。

地域と連携し、花を植える活動をとおり、身近な自然について考える機会に。植える、育てる、大切にすることを育み、環境についてもできることから取り組む姿勢を学ぶ。



内容 維持管理もしっかりとすることで地域を花でいっぱいに

本校では、区の「とよひらHANA-LAND」の事業を受け、5年前から地域へのボランティア活動として「羊丘通り沿いに花を植える取組」を続けている。平成22年度は、6月4日に午後の2時限を使い、1年生約150名が各学級の班ごとに分担する場所を決め、区長さんや町内会の方と一緒に苗を植えた。保護者の方たちも安全面での配慮に協力してくれている。この活動は、花を植えるだけで終わりではなく、天候や土の状態を見ながら水やりをしたり、雑草を取り

除いたり、枯れた葉や咲き終わった花がらをとるなど、美しい花壇を保つため努力している。また、苗に元気がなくなったときは肥料をあげたり、その原因をみんなで考えたりもしている。この活動をとおり地域に愛着をもち、美しいまちを守りたいという意識が芽生え、さらに、身近な自然に興味をもち、できることから取組んでいこうという気持ちが生徒たちの中で高まっている。

効果 自覚をもち 取組んでいくような活動に

生徒たちは、地域への恩返しの意味を込めて、道を往来する人が気持ちよく歩けるように、心をこめて花を植えている。自分の学校が、学校外の人たちに評価される取組だという意識をもち、一人一人が自覚をもって取組んでいこうと考えている。



植栽された花壇



街路樹花壇に植花

広げよう につなげよう 環境学習の輪



実施校から メッセージ

ただ花を植えて終わりではなく、植えたあとも責任をもって世話をし、見守り育てていくことが大切です。地域を知り、自分たちのできることから、小さなことでも取組んでいくことで、あたたかい気持ちになれ、何かを得ることができるのではないのでしょうか。地域の方たちとともに活動するときには、調整役としてまちづくりセンターとも連携を図っていき、もっとスムーズに活動できるのではないかと感じています。

ビオトープ

